

都が内水氾濫対策重点地区に 葛飾・金町地区を指定



和泉都議の要求、一歩前進

和泉都議はすでにこれまでにも、文書質問などによって「葛飾区など東部低地帯でも、近年の気候変動による豪雨によって内水氾濫が起きるのではないか。ひたすら雨水をポンプで荒川に汲み出すだけの対策ではなく、抜本的な対策をたてべきではないか」と問題提起もし、要求してきました。

このほどこの和泉都議の要求が一歩前進したことが、11月14日決算委員会での和泉質問によ

て明らかになりました。それは今年、都下水道局が「下水道浸水対策二〇二二」という計画をつくり、新たな重点地区として東部低地帯である葛飾区金町地区と、江戸川区中央地区を加えたからです。

和泉都議が「なぜ今回、葛飾区金町地区と江戸川区中央地区を重点地区と

したのでですか」と聞いたところ下水道局は「これまでの内水氾濫対策の基準を一時間当たり50ミリの降雨から、75ミリに引きあげて雨水流出解析シュミレーションをしたところ、葛飾区金町地区、江戸川区中央地区は床上相当の浸水がまとまって発生する状況が確認できたから」と答えました。

荒川の東側では初めて

和泉都議はさらに「荒川の西側と東側では地形上、内水氾濫が起きるシステムがちがうはずだが、今後どのような対策を考えているか」と質

問しました。和泉都議は「二〇一九年の十九号台風の際には荒川があわや溢水するという危険があった。いまはこれまでの延長線上ではない対策がとめられている。新たな貯留施設の建設も含めて対策をたてていただきたい」と要望



に内水氾濫が起きるといふ想定のもとに対策をすすめる

たい」と答えるにとどまりました。和泉都議は「二〇一九年の十九号台風の際には荒川があわや溢水するという危険があった。いまはこれまでの延長線上ではない対策がとめられている。新たな貯留施設の建設も含めて対策をたてていただきたい」と要望

なおみのさわやかエッセー



日が短くなると思いだすこと

日も短くなり、寒さが増してくると、いつも思い出すことがあります。それは、子どもたちがまだ、保育園に通っていたころのこと。

私が迎えに行く時間には、子どもたちは縦割り保育で、兄弟が一つの部屋で保育士さんに絵本や、紙芝居を読んでもらっています。二男は片手で長男のシャツの裾をつかみ、もう片方の手の親指をしゃぶり…

冬になると、迎えに行く時間にはとつぷりと日が暮れて、暗い園庭に一つの保育室だけが明るくくっきりと照らし出され、「待たせてごめんね」という思いに駆り立てられます。日が短くなると、駅を降りて保育園に向かう足取りがどうしても早くなるのです。

- * 今でも、寒くなると、寒い道を、一つだけ電器のついた保育室へと急いだ、あの頃のことを
- * きまって思い出します。もう35年
- * も前の、私にとってちょっと胸が
- * きゅっとなる思い出です。



日本共産党都議会議員

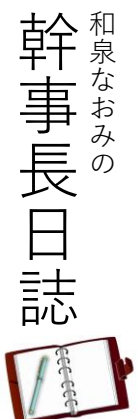
和泉なおみの

生活・年金・法律相談

2022年12月14日(水)午後2時より

事前にお電話ください

場所 和泉なおみ事務所



和泉なおみの
幹事長日誌

11月3日(木)
消防庁即応対処部隊見学会

11月4日(金)
公営企業決算全局質疑打合せ

11月5日(土)
全国地方議員・候補者会議

11月8日(火)
公営企業決算全局質疑打合せ
全局質疑に向けた聞き取り調査

11月11日(金)
葛飾区長との意見交換
消防庁質疑に向けた聞き取り調査

11月14日(月)
公営企業決算全局質疑

11月15日(火)
予算要求概要の説明

11月17日(木)
警視庁・消防庁の聞き取り

11月18日(金)
副知事から提出案件説明

11月21日(月)
財務局から補正予算の説明

11月22日(火)
都政対策委員会(都委員会)

11月24日(木)
シニア健康フェスタ東京
議会運営委員会理事会・委員会
公営企業決算特別委員会

11月25日(金)
東京都国民健康保険運営協議会

11月28日(月)
経済緊急提案について大門
さんのレクチャ

11月29日(火)
弁護団会議

11月29日(火)
警察・消防委員会事務事業質疑

代表質問に向けて「アニメ業界の未来を考える会」
漫画アシスタントの聞き取り調査

12月1日(木)
議会運営委員会理事会

第4回都議会定例会開会本会